

こうとう民報

2017年 6月号 151

江東区の職場・地域、議会などくらし・平和を守る運動をご紹介します。

発行
こうとう民報編集委員会
責任者 猪又 武夫
住所 江東区東陽2-3-5-203
電話3648-5155 FAX3648-5137
ホームページ
http://www.koto-minpo.jp/

第22回花咲デモ



福祉・医療・年金制度の充実を!

写真は、集会后、江東区役所までデモ行進する参加者のみなさん。



仙台堀川公園全長3・6kmのうち清洲橋通りと小名木川との合流地点との間の1・1kmの区間、公園造成から30年が経過し、園内に植えられた桜並木は区内有数の桜の名所として花見の時期には大変な賑わいを見せます。子どもたちにはドングリひろいやザリガニ池など自然に親しむ豊かな遊びの場となっ

6月7日、「いのちと暮らしを守る! 平和で福祉の花咲く江東に!」をスローガンに、社会保障制度の充実を求める第22回花咲デモがおこなわれました。東陽公園での出発集会には、170人余が参加しました。

主催者を代表して江東区社会保険推進協議会の青柳副会長が「介護保険法の改悪は許せない。さらにみんなで怒りの声を」と挨拶。日本共産党のきくち幸江区議から都議選の情勢報告がありました。

《民主商工会が第72回定期総会》

6月4日、江東民商が第72回定期総会を開催しました。上原議長が開会挨拶。来賓に区労連、東部法律事務所など、日本共産党からきくち幸江区議が挨拶をしました。



開会あいさつをする上原議長

上原議長は開会挨拶で次のように述べました。安倍首相が憲法擁護義務を投げ捨て憲法9条に第3項を追加し自衛隊を明記すると公言し、戦争へ突き進むとして、また共謀罪法など権力が国民の内心の自由を奪う法案を次々と出している。

「暮らしを守る政治の実現を!」

ています。また絶滅危惧種の小型の鷹、ツミの生息も確認されるなど自然豊かな公園に成長しました。

ところが区は 両側の道路

豊かに育った仙台堀川公園壊すな

を車道、歩道とも広げ、無電柱化する、古くなった公園施設の改修を目的に大規模に「改修」する計画を発表しました。当初の計画では、道路拡幅、

森友、加計学園問題は、安倍首相の思うとおりに政治を動かす便宜を図るといふ前代未聞の大問題。「集まって話し合い、話し合って問題を解決する」ことが民商のモットー。共謀罪法は「集まり話し合いプラカードなど準備する」と呼びかけました。

《江東区労連 第27回定期大会開催》

地域を変え、職場を守る

区内で働き生活する仲間と要求実現に

5月28日、江東区労連第27回定期大会が東京土建江東支部会館で開かれました。



大会で選出された役員のみなさん

清水事務局長による活動報告は、政府は「同一労働同一賃金」や「働き方改革」と称して、耳ざわりのよいスローガンを並べるが、過労死を増やすなど雇用破壊の施策を打ち出している。

区労連は、改憲を唱える安倍政治に「ノー」のたたかいを地域で進め、組織拡大で職場の強化、次世代の労働組合運動の担い手の育成に取り組んできたと述べています。

運動方針では、「地域労組こうとう」は、現在224人から300、400人の組合員をめざし、労働相談や労働審判事件の支援や解決のために援助すること。さらに区内34万の労働者を視野に、20万人を超える未組織労働者の組織化と総対話をすすめ、区労連として地域労働運動の発展と共同を広げて、要求実現のために全力をあげることなど、全会一致で採択、新役員を選出しました。

朝騒

今年「カラ梅雨」の予報。心なしか路傍の紫陽花も雨乞いをしてるようにみえます。23日告示の都議選は大激戦の様相。

石原氏から3代にわたる都知事と結託した自民・公明などによる都政の闇は躍進した共産党都議団の告発で明らかに。都民の怒りを広げました。憲法を否定し「東京から日本を変える」と豪語する石原知事のもとで、革新都政以来の福祉は切り捨てられ、大企業・ゼネコンに奉仕する大型開発推進に舵が切られました。その発端が築地から東京ガス豊洲工場跡地への無謀な市場移転です。その手法は、与党の多数をたのんだ利権・私物化・情報隠しを特徴として、大阪維新の橋本氏らの手本となり、国政でも森友、加計疑惑に象徴されるアベ政治に共通します。15日早朝には、戦争法と一体の「共謀罪」法が審議未了のまま強行成立されました。首相に迫る疑惑の火の粉を払いのけ、都議選への影響を避けるための理不尽な暴挙。20年までに憲法9条が死文化される危機は現実的になってきました。首都の政治決戦は、嘘とごまかしで「戦争する国」にする暴走に審判を下す最初のチャンスとなりました。小池都民ファーストVS自民の対決などの演出に惑わされることがないように、自・公VS日本共産党の構図を鮮明にして至んだ都政を正していくたかいです。

第五福竜丸と保存運動

概説 江東の歴史 (69)



第五福竜丸展示館

1967(昭和42)年2月下旬、都港湾局のある労働者が一隻の老朽船が東京街に入っているのを知ります。労組の人々は、その廃船処分の近い「はやぶさ丸」を「第五福竜丸」だと見ぬきました。

焼津港を母港とする第五福竜丸は、1954(昭和29)年3月1日午前4時、東経166度、北緯11度、米国の原爆実験で立ち入り禁止地域から50キロも離れた地点にいました。船員たちは、突如として西空に太陽のような赤い火の玉がのぼるのを見ました。それはキャスル・テストという水爆実験でした。広島型原爆の千倍の水爆は、ビキニ環礁ナム島に周囲500mの穴をあけ、放射能で汚染されたサンゴ礁を粉砕して、太平洋全域に「死の灰」を、世界中に放射能雨を降らせました。

第五福竜丸のマグロは汚染され、乗組員の久保山愛吉は肝臓障害で9月23日に死亡。広島、長崎につく二度目の被害を受けたのです。

この事件は日本国民に大きな衝撃を与え、広島原爆投下から10周年の55年8月6日、広島で「原水爆禁止世界大会」を開催。日本原水協を結成して、第五福竜丸被災の3月1日は「ビキニデー」としました。

第五福竜丸は被災後、学術研究資料として政府に買い上げられ、水産大学の練習船などになりますが、老朽化で廃船となり、「船の墓場」、江東第14号地の夢の島に放置されたのは67年9月29日です。この「死の灰」の生き証人の保存運動が地元江東区の人々を中心におこり、その先頭に「福竜丸三羽鳥」の三井周二、若島幸作、深井平八郎と「江東教師平和の会」堀田尊生がいました。

69年7月、中野敦子、美濃部亮吉ら8人を代表とする保存委員会ができ、76年6月10日には福竜丸展示館の落成式がおこなわれました。この完成を見ずに亡くなった堀田は、遺言で江東原水協の緑の旗を贈りました。

夢の島にひるがえる 江東原水協の緑の旗よ 君生きし証し 堀田貴美

どうする？築地市場の豊洲移転

江東革新懇・学習と交流の夕べ



講演する矢野政昭氏

「どうする？築地市場の豊洲移転」と題して講演を行った矢野政昭氏(臨海部開発問題を考える都民連絡会世話人)は、みずからが都の臨海部開発行政に携わってきた生々しい体験を語りました。

6月3日、江東革新懇(平和・民主・革新の日本をめざす江東懇話会)は「都政を考える」学習と交流の夕べを開催、会場の総合区民センターに50余人が参加しました。

「どうする？築地市場の豊洲移転」と題して講演を行った矢野政昭氏(臨海部開発問題を考える都民連絡会世話人)は、みずからが都の臨海部開発行政に携わってきた生々しい体験を語りました。ゴマかす・はぐらかすことへの繰り返し結果と述べました。続いて、あぜ上三和子都議が都議会報告。8人から17人に躍進した都議団が、保育所の増設や私立高校生の授業料補助拡大などの公約を實現、今年度の都の一般会計予算にも賛成するなど、小池都政には是々非々の立場で臨んでいることを紹介。さらに、小池知事は市場移転問題でも彼女なりに世論をよく見ているので、都議団として知

江東革新懇・世話人会 野党共同の「市民連合」結成へ

江東革新懇は5月26日の世話人会で、総選挙に向けて「市民連合・江東」(仮称)発足という提案を「戦争法廃止を求める砂町の会」などから受け、「申し合わせの素案」を検討した結果、代表世話人と世話人が同市民連合発足への準備会に参加することを確認しました。

同市民連合の名称(案)は「アベ政治を許さない市民連合@江東」、目的(案)は「安民法制廃止と立憲主義回復をめざし平和と暮らしを守る政策で一致した野党共同を支援し『戦争する国』への安倍政権の暴走を阻止する江東区内の世論と運動を推進する」など提案。区内の個人・団体有志が思想・信条や政治的立場を超えて、対等、平等に共同できる連合体とすることが強調されました。

事に直接資料を渡すなど、行方は、差し迫った都議選の真の都政改革を迫っているが、今後の小池都政の選の結果いかんであることとを強く訴えました。



第1部で「着々と進む新たな戦時徴用 軍事主義に偏重する安倍政権を質す」と題して



講演を聞く参加者

講演した額縁氏は、アジア太平洋戦争の軍事面を振り返り、旧軍が特に輸送力に無関心であったため、船舶、船員、兵員の被害が甚大となったことを説明。戦争のできる国に舵を切る安倍政権が、この「教訓」から学び、戦時徴用準備に並々ならぬ関心を持って臨んでいることを強調しました。それは、特定秘密保護法や戦争法によって、特に海上自衛隊による民間船舶借り上げ及び民間船員の予備自衛官任用問題として現実に具体化されているという生々しい事例として紹介されました。

海運九条の会 講演会 「平和な海」で帰ってこそ船乗り

6月17日、「海運九条の会」は、山口大学名誉教授の額縁厚(こうけつあつし)氏の講演と現場からの報告会を開催、会場のティアラこうとう地下会議室に67人が参加しました。

空労組連絡会から「迫りくる戦争法の足音」、「海運九条の会」の平山誠一世話人から「民間船員の『予備自衛官化』と民間船舶の軍事徴用」と題して、現場からの報告がそれぞれ行われました。

行事日程

7月6日(木) 18時30分、道徳が教科になる! どうなる学校・子どもたち 共催: 都教組江東支部 江東の教育を考える会 講演: 佐貫浩(元法政大学教授) 資料代: 300円 (江東文化センター大研修室) 7月14日(金) 14時・19時 映画「思いやり」上映 主催: 江東社会保障推進協議会 (総合区民センター) 入場料: 一般1000円、学生・障がい者500円

<お知らせ> 日本共産党街頭演説 志位和夫委員長がお話します 6月27日(火) 15時~16時 門前仲町 深川不動前

<東京都議選日程> 6月23日(金) 告示日 7月2日(日) 投票日 * 期日前投票 告示翌日から投票日前日